

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【公開番号】特開2006-110356(P2006-110356A)

【公開日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【年通号数】公開・登録公報2006-017

【出願番号】特願2005-299458(P2005-299458)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/115 (2006.01)

A 6 1 B 17/3211 (2006.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/11 3 1 0

A 6 1 B 17/32 3 1 0

A 6 1 L 31/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月10日(2008.10.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

隣接する腸組織セクション間に吻合を形成するための装置であって：

a) アンビルおよび管状本体部分を有する吻合デバイスであって、該アンビルが該管状本体部分にシャフトにより選択的に取り付け可能である、吻合デバイス；および

b) 腸組織セクション間の配置のための支持構造、を備え、

該支持構造が、該シャフトを受容するためのアパーチャをその中に規定する本体を含み、該本体が、外側末端エッジを有し、該支持構造が、該本体の外側末端エッジに配置された膨張可能な材料の少なくとも 1 つの層を含む、装置。

【請求項 2】

前記膨張可能な材料の少なくとも 1 つの層が、前記本体部分の外側末端エッジから半径方向の外側に延びる第 1 の膜および第 2 の膜を備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記アパーチャが、前記本体の内側末端エッジによって規定され、該内側末端エッジが、前記管状本体部分中に配置されたステープルカートリッジアセンブリのステープル受容スロットの半径方向の内側にある、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記第 1 の膜および第 2 の膜の各々が、ポリマーフィルムから作製される、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 5】

前記第 1 の膜および第 2 の膜の各々が、ポリエチレンから作製される、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 6】

前記支持構造が、前記第 1 の膜および第 2 の膜が前記本体に向かって巻き上げられる非展開状態、ならびに該第 1 の膜が該本体から実質的に遠位方向に延び、かつ該第 2 の膜が該本体から実質的に近位方向に延びる展開状態を有する、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 7】

前記第 1 の膜および第 2 の膜を膨張するためのリップコードをさらに備え、該リップコードが、前記支持構造が非展開状態にあるとき、該第 1 の膜および第 2 の膜の各々中に巻き上げられる、請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

各膜が、第 1 の内側層および第 2 の外側層を含む、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 9】

前記各膜の第 2 の外側層が、前記第 1 の内側層より大きい速度で膨潤する、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 10】

前記第 1 の膜および第 2 の膜の第 2 の外側層がヒドロゲルから作製される、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 11】

前記第 1 の膜および第 2 の膜の各々の第 1 の内側層が、実質的に非吸収性材料から構成される、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 12】

前記第 1 の膜および第 2 の膜の各々の第 1 の内側層が、メッシュ、ニット、織物材料および非織物材料からなる群から選択される生体吸収性材料から製作される、請求項 11 に記載の装置。

【請求項 13】

前記本体が穿孔される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 14】

前記本体が多孔性である、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 15】

前記少なくとも 1 つの膨張可能な材料の層が、流体吸収に際し膨張する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 16】

前記本体が、ポリ乳酸材料、グリコリドホモポリマー、および合成の吸収性のラクトマー 9-1 材料の少なくとも 1 つから製作される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 17】

前記本体が、メッシュ、ニット、織物材料および非織物材料からなる群から選択される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 18】

前記本体が織物である、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 19】

前記本体が創傷処置材料を含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 20】

前記創傷処置材料が、接着剤、封止剤、止血剤、および医薬の少なくとも 1 つである、請求項 19 に記載の装置。

【請求項 21】

前記本体が、前記本体の外側末端エッジが、前記アンビルおよび管状本体部分の半径方向外側面を超えて延びるように、圧縮可能である、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 22】

前記本体が、発泡体から製作される、請求項 21 に記載の装置。

【請求項 23】

前記本体が、該本体の直径の $1/4$ より大きい第 1 の厚みを有する、請求項 21 に記載の装置。

【請求項 24】

前記支持構造が、前記本体が第 1 の直径および第 1 の厚みを有する非水和状態、および該本体が該第 1 の直径より大きい第 2 の直径および該第 1 の厚みより大きい第 2 の厚みを有

する水和状態を有する、請求項 2 1 に記載の装置。

【請求項 2 5】

前記本体が、それへの流体の付与に際し、前記第 1 の直径および第 1 の厚みから、前記第 2 の直径および第 2 の厚みまで膨張する、請求項 2 1 に記載の装置。

【請求項 2 6】

前記本体が、2 部分創傷処置材料の第 1 の部分から構成され、そしてそれに付与された流体が該 2 部分創傷処置材料の第 2 の部分である、請求項 2 5 に記載の装置。